



# てき丸君News 第56号

発行：公益社団法人全国産業資源循環連合会

〒106-0032 東京都港区六本木3丁目1番17号

TEL 03-3224-0811

FAX 03-3224-0820

http://www.zensanpairen.or.jp

## 第17回産業廃棄物と環境を考える全国大会 石川県金沢市で開催



全国大会の開会式のもよう

第17回産業廃棄物と環境を考える全国大会（主催・公益社団法人全国産業資源循環連合会、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター、公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団）を11月16日に石川県金沢市のホテル日航金沢で開催しました。

当日は、全国から約650人の方々にご来場いただき、環境大臣表彰、基調講演及びパネル討論会を行ったほか、全国大会の閉会後には交流会を開催しました。

全国大会は、まず主催団体を代表して、当連合会の永井良一会長の開会挨拶に始まり、環境省廃棄物規制課長の成田浩司氏、石川県副知事の竹中博康氏より祝辞を頂戴しました。その後、循環型社会形成推進功労者に対する環境大臣表彰（産業廃棄物関係事業功労）が行われ式典を終了しました。



写真左から：主催者挨拶する永井全国産業資源循環連合会会長、ご来賓の成田環境省廃棄物規制課長、竹中石川県副知事、山野金沢市長

式典の終了後は、「AI・IoTの活用と資源循環」をテーマに早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科教授の小野田弘士氏にご講演いただきました。

続いて「資源循環の促進と排出事業者責任」をテーマにパネル討論会を行い、コーディネーターのBUN環境課題研修事務所主宰の長岡文明氏の進行のもと、環境省廃棄物規制課長の成田浩司氏、石川県生活環境部次長の蔵本和夫氏、小松マテーレ株式会社環



講演を行う小野田氏

境・エネルギー課長の森幸治氏、クリーンライフ株式会社代表取締役の毎田正男氏、の各氏にご登壇いただきました。

全国大会終了後の交流会には、金沢市長の山野之義氏をはじめ多数のご来賓にお越しいただきました。ご来賓、ご出演者及びご来場者の皆様、後援いただきました環境省、石川県、金沢市をはじめ協賛・協力いただきました各団体等の皆様に対し、全国大会が成功裏に閉幕できましたことを深く感謝致します。

（総務部・古川）



パネル討論会（写真上：右から長岡氏、成田氏、蔵本氏、写真下：右から毎田氏、森氏）

### ●来年度の全国大会は兵庫県で開催●

次回の第18回産業廃棄物と環境を考える全国大会は、来年11月に兵庫県で開催することが決定しました。次回の全国大会にも大勢の方々にご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

## 「循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰」31名の方々が受賞



第17回産業廃棄物と環境を考える全国大会におきまして、産業廃棄物処理事業を通じて長年にわたり循環型社会の形成に大きく貢献されてきた31名の方々が、「循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰（産業廃棄物関係事業功労）」を受賞されました。

表彰式では成田環境省廃棄物規制課長より表彰状が授与された後、受賞者を代表して大塚雅司氏が謝辞を述べました。受賞者の皆様、本当におめでとうございます。（総務部・古川）

## 連合会より

### ●医療廃棄物部会●

平成30年度第2回医療廃棄物部会運営委員会（座長：岩間部会長）を11月21日に開催しました。議題は以下のとおりです。各委員は、議題(1)および(2)について、地元地域の意見を収集し、その結果を次回運営委員会で報告することとなりました。次回は来年3月6日に開催する予定です。

議題：①収集運搬業務と処分業務の一括入札について、②収集運搬料金と容器代について、③環境配慮契約法について、④電子マニフェスト一部義務化について（調査部・日浦）

### ●平成30年度全国正会員事業研修を開催●

当連合会では、連合会及び正会員の事務局担当者の知識向上と情報交換などを目的として毎年全国正会員事業研修会を行っています。今年度は11月9日及び12日に開催しました。

今年度は、ノートパソコンを1協会1台使用して、無料体験を実施しているマニフェスト・スマートプラスの操作体験や安全衛生規程の作成を行いました。続いて、「電子マニフェストの運用支援業務について」、「産業廃棄物処理業における人材育成事業の取組について」、「許可申請講習会に関する開催業務について」など、連合会及び協会の事業に関する内容を中心に研修を行いました。（総務部・富樫）



## 官公庁関係ニュース

### ●環境省「産業廃棄物処理に係る意見交換の場」を開催●

国、自治体、産廃処理業界の三者による環境省主催の「意見交換の場」が、九州地域協議会（11月2日・福岡）及び関東地域協議会（11月22日・横浜）の会議にあわせて初めて開催されました。

議題は、①優良認定制度の見直しについて、②廃プラスチック類に関する処理の状況について、③産業廃棄物処理業の振興等について、の3項目でした。今回の自治体の参加は各地域協議会の開催県内の県・政令市に限られましたが、環境省では今後、参加自治体の拡大に務める考えです。

次回は、来年2月5日の中部地域協議会にあわせて開催する計画が進められています。（総務部・古川）

## 産業・資源循環議員連盟PTが第2回会合を開催

産業・資源循環議員連盟プロジェクトチーム（以下、議連PT）第2回会合が11月29日に衆議院第一議員会館第6会議室において開催されました。

開会にあたり、議連PTの井上信治座長より挨拶がありました。「第1回会合において、産業廃棄物処理業界における現状の課題認識と今後優先的に取り組むべき2つの重要なテーマが決定されました。第2回目以降は2つのテーマについて、具体的に課題を検討していただき、その成果を議連PTとしてしっかり支援をしていきます。」



続いて、議連PT松村祥史副座長を中心に議事検討が行われました。最初に全国産業資源循環連合会森谷専務が、①人材の育成・確保、②建設廃棄物の再生品の利用促進、について現状の取組み状況と全産連の考え方について説明しました。説明内容は以下の通りです。

### 1. 人材の育成・確保

#### 1) 産業廃棄物処理業務従事者の資格制度導入

- ・参考として、廃棄物処理業界の現状、現場で求められる技能、廃棄物処理施設技術管理者について

#### 2) 産業廃棄物処理業界への技能実習生受入れ

- ・参考として、技能実習制度の仕組みについて（新制度の内容含む）

#### 3) 産業廃棄物処理業における労働災害と体制強化

- ・参考として、産業廃棄物処理業界の安全管理体制について

### 2. 建設廃棄物の再生品の利用促進

- ・参考として、建設汚泥再生品による貯木場埋戻し事業、再生砕石利用拡大支援制度「東京ブランド“粋な”えこ石」、建設汚泥再生品についてのモデル利用事業（全産連提案）

補足説明として、浜野建設廃棄物部会長より、全産連提案のモデル事業について、再生品の利用促進ができる枠組みを是非構築していただきたいとの要望がありました。

その後、環境省環境再生・資源循環局の成田廃棄物規制課長より、「全国産業資源循環連合会の提案内容の必要性は認識しており、全産連と協議しながら進めていきたい。具体的には廃棄物処理法等にどのように位置付けしていくか、検討課題である」と述べました。また、国土交通省環境・リサイクル企画室の直原室長より、「建設汚泥再生品についてのモデル利用事業（全産連提案）については、是非、実現に向けて取り組んでいただきたい。国交省として受入れ活用体制に協力していく」との意見がありました。

その他意見交換が行なわれ、議員からは、資格制度の構築や技能実習生及び再生品の利用を促進できる枠組みの実現に向けた取組を進めること、また人手不足が深刻であるとの業界の意見を受け「業界として人手不足を説明できる具体的な数値を示すべき」との発言が出されました。行政からは、人材の育成・確保及び再生品の利用促進においては、全産連と連携を取りながら取り組んでいきたい旨の意見や提案が出された。

最後に、松村祥史副座長から本日協議された内容について、次回はさらに一步踏み込んだ議論をしていきたいと挨拶され閉会された。

（政治連盟事務局長・土井）

### ○第2回議連PT会合出席者（掲載順不同・敬称略）

産業・資源循環議員連盟プロジェクトチーム

座長：井上信治衆議院議員、副座長：松村祥史参議院議員、事務局長：あかま二郎衆議院議員、中西祐介参議院議員、渡辺美知太郎参議院議員（オブザーバー）

環境省環境再生・資源循環局

廃棄物規制課長：成田浩司、課長補佐：小岩真之

国土交通省

総合政策局環境・リサイクル室長：直原史明、課長補佐：松岡貞則

土地・建設産業局建設業課課長補佐：古賀文雄

全国産業資源循環連合会政治連盟 理事長：國中賢吉、副理事長：藏本忠男、副理事長：高橋俊美、

業法担当理事：川本義勝、

全国産業資源循環連合会 会長：永井良一、法制度対策委員長：片淵昭人、最終処分部会長：杉田昭義、

建設廃棄物部会長：浜野廣美、タスクフォースメンバー：加藤宣行、専務理事：森谷賢

## セミナー開催のご案内

### ●「ソフィア・エコロジー・ロー・セミナー」(上智大学) ●

上智大学法科大学院に設置された「上智大学環境法政策プログラム (Sophia Environmental Law and Policy Program, SELAPP)」では、毎年、産業廃棄物処理に関する講演会として、「Cセミナー」を開催しています。2018年度は、以下の要領で開催をいたします。

- ・日時：2019年1月19日(土) 15:00~17:00
- ・場所：上智大学四谷キャンパス2号館210教室
- ・講師：津田隆好氏(警察庁警察政策研究センター教授、前警察庁生活安全局生活経済対策管理官)
- ・テーマ：「産業廃棄物事犯の動向と警察の対応」
- ・概要：警察庁で産業廃棄物事犯の取締りを指揮されたご担当者から、最近の事件の動向や警察の対応状況などについてお話しいただきます。警察関係者による講演会は貴重な機会ですので、ぜひともご参加ください。
- ・受講料：1万円
- ・申込み方法：メール (djuris@sophia.ac.jp) により、①お名前、②ご所属、③メールアドレスをご連絡ください。折り返し、メールで受講料振込方法などについてご連絡いたします。

### ●福岡県補助事業 環境セミナー「産業廃棄物処理に携わる人材の育成と企業の成長」 (公益社団法人福岡県産業資源循環協会) ●

#### 1. 目的

当協会では、平成29年3月に取りまとめられた「産業廃棄物処理業の振興方策に関する提言」で述べられている、排出事業者の意識改革・産業廃棄物処理業の企業としての「底上げ」を図り、「成長」を推進するため、下記2点を目的とし、本セミナーを開催します。

- ①廃棄物処理のあらゆる課題に対応可能なプロフェッショナルとしての高い知識の習得
- ②企業価値の向上が期待できる“企業ブランディング”について熟慮するきっかけ作り

#### 2. 受講対象者

- 産業廃棄物を排出する企業の経営者や管理者の方
- 産業廃棄物の処理を行う企業の経営者や管理者の方

#### 3. 開催日時 平成30年2月13日(水) 13:30~16:30

#### 4. 場所

「JR九州ホール」

(福岡市博多区博多駅中央街1-1 JR博多シティ9階)

<https://www.jrhakatacity.com/communicationspace/hall/>

#### 5. 受講料 無料

#### 6. 内容

- ①【特別講演】テーマ「五感経営」-産廃会社の娘、逆転を語る-  
講師：石坂典子氏(株式会社石坂産業代表取締役)
- ②【基本講演】テーマ「産業廃棄物処理業における社会ニーズへの対応について(当社の事例)」  
講師：高橋潤氏(高俊興業株代表取締役)

#### 7. 問合せ先

受講を希望される方は、申込書(申込書の入手方法については協会事務局にお問い合わせください。)にご記入の上、

協会事務局宛てにFAX(092-651-1065)

もしくは協会ホームページ(<http://www.f-sanpai.com/workshop/>)からお申込みください。

皆様のご参加をお待ちしております。

公益社団法人福岡県産業資源循環協会事務局 TEL:092-651-0171 FAX:092-651-1065

●INDUST 12月号特集「産廃処理からの新たな事業展開—住民への還元と雇用創出—」●

環境省が実施している環境経済観測調査（平成30年6月調査）によると、環境ビジネスの業況感是好調を継続させています。

産廃処理業、資源循環業も本業を軸に様々な資源循環ビジネスを派生させ、拡大を図っていますが、一方で本業を展開していくなかで本業の延長線上で新たなサービスを提供している企業も増えてきました。

本業のイメージアップ、地域への還元、地域雇用の創出など、様々なメリットを生む産業廃棄物処理業者の新たなビジネスへの取り組みについて紹介します。  
(事業部・東方)

- 主な行事予定 - (12月20日～1月30日)

【12月】

20日 低炭素社会実行計画目標等検討会

21日 建設汚泥分科会

【1月】

9日 総務倫理委員会

18日 第42回理事会・賀詞交歓会

24日 再生砕石分科会

30日 建設廃棄物部会運営委員会



キャリアアップを考えている方に必須の試験です！

(公社)全国産業資源循環連合会

後援：  
環境省

# 産業廃棄物処理検定 (廃棄物処理法基礎)



こんな人のニーズにおすすめです。

- 人事・管理部門  
現場の担当者が業務に必要な知識を身に付けているか、定量的に把握したい方。従業員の人材育成にご活用ください。
- 廃棄物処理担当  
廃棄物を処理する上で、実務に必要な正しい知識が身についているかを確認したい方。

平成30年度産業廃棄物処理検定  
この検定に合格すると・・・

- 合格証明書カードが交付されます。
- きちんとした知識を備えた人材であることの証明になります。
- お客様やクライアントからの要望に対して、より効果的で適確な提案をすることができます。

【試験日時】平成31年2月17日(日) 10時～11時30分

【申込方法・受付期間】専用ホームページにて申込受付、平成30年12月5日～平成31年1月18日  
(ただし、定員になり次第、受付を締め切ります)

詳しくは、連合会ホームページでご案内いたします。

産廃 人材育成

検索



【試験形態】マークシート方式による筆記試験

<https://www.zensanpairen.or.jp/disposal/training/>

【試験範囲】廃棄物の種類、排出事業者責任、委託契約、マニフェスト、帳簿  
保管基準、処理基準等に関する法令の基礎

受験料:

7,020円(税込)

【試験会場(予定)】全国12会場で同時開催

最寄の会場をご利用ください

開催場所(定員)	試験会場名	所在地
岩手県(150名)	岩手教育会館	盛岡市大通1-1-16
栃木県(100名)	関東職業能力開発大学校	小山市横倉三竹612-1
埼玉県(70名)	TKP大宮駅西口カンファレンスセンター	さいたま市大宮区桜木町1-8-1
東京都(300名)	TKP市ヶ谷カンファレンスセンター	東京都新宿区市谷八幡町8
神奈川県(120名)	(学)岩崎学園 横浜西口2号館	横浜市神奈川区鶴屋町2-17
新潟県(100名)	新潟県建設会館	新潟市中央区新光町7-5
長野県(70名)	長野バスターミナル会館	長野市中御所岡田178-2
静岡県(70名)	レイアップ御幸町ビル	静岡市葵区御幸町11-8
愛知県(150名)	名古屋国際会議場	名古屋市熱田区熱田西町1-1
大阪府(140名)	国民會館 武藤記念ホール	大阪市中央区大手前2-1-2
広島県(100名)	広島工業大学専門学校	広島市西区福島町2-1-1
熊本県(120名)	ユースピア熊本	熊本市中央区水前寺 3-17-15

共催:

一般社団法人岩手県産業廃棄物協会

公益社団法人栃木県産業資源循環協会

一般社団法人埼玉県環境産業振興協会

公益社団法人神奈川県産業資源循環協会

一般社団法人新潟県産業廃棄物協会

一般社団法人長野県資源循環保全協会

公益社団法人静岡県産業廃棄物協会

一般社団法人愛知県産業廃棄物協会

公益社団法人大阪府産業資源循環協会

一般社団法人広島県資源循環協会

一般社団法人熊本県産業資源循環協会

【お問合せ先】

(公社)全国産業資源循環連合会  
検定試験担当

〒106-0032 東京都港区六本木3-1-17  
第2ABビル4階

TEL: 03-3224-0811 FAX: 03-3224-0820

<https://www.zensanpairen.or.jp>

● 営業時間 / 月～金 9:00～17:00

● 定休日 / 土日・祝日

2018.10